

ついに実現！
 広上淳一&藤村実穂子の
 マーラー交響曲第3番！

メゾ・ソプラノ：
 藤村 実穂子
Mezzo Soprano: Mihoko Fujimura
 ©R&G Photography

第692回

定期演奏会

京都市交響楽団

合唱：
 京響コーラス（女声）
 【合唱指揮：浅井 隆仁】
 京都市少年合唱団
Chorus:
 Kyoto Symphony Chorus (female chorus)
 Kyoto Junior Chorus

指揮：
 広上 淳一
Conductor:
 Junichi Hirokami
 ©Masaaki Tomitori

The 692nd Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

今回の

フライデー・ナイト・スペシャル

はいつもと違う！

土曜公演と
同じ内容の

フルボリューム!!

2024

フライデー・ナイト・スペシャル

8/23金

午後7時開演
(午後6時開場)

Fri, August 23, 2024 / 7:00PM

8/23日公演〈フライデー・ナイト・スペシャル〉 & 8/24日公演 共通プログラム (休憩なし)

Fri, August 23 <Friday Night Special> & Sat, August 24 / with no intermission

8/24土

午後2時30分開演
(午後1時30分開場)

Sat, August 24, 2024 / 2:30PM

開演前

は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。

8/23日公演：午後6時30分ごろから

8/24日公演：午後2時ごろから

「プレトーク」はホール・ステージ上
にて開催します。

マーラー：交響曲 第3番 ニ短調

Mahler: Symphony No.3 in D minor

京都コンサートホール

Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
 (舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
 独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁
 Agency for Cultural Affairs,
 Government of Japan

助成：

公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団

2024.6/21 から発売

入場料

8/23日 公演〈フライデー・ナイト・スペシャル〉 &
 8/24日 公演 共通

¥5,500円 ¥5,000円 ¥4,000円 ¥3,000円

U22 (当日残席がある場合のみ発売) ¥2,000円 ¥1,500円 ¥1,000円 ¥1,000円

※「U22」は22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日発売場にてお問い合わせください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

●京都コンサートホール (075) 711-3231 ●ロームシアター京都 (075) 746-3201
 ●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2e-get.jp/kyoto/pt/>
 ●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード252-730
 ●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード55711

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
 京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
 ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年8月16日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
 音楽との出会いをお届けします。



The 692nd Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

皆様、お待たせいたしました。ようやく実現するマラー3番。2021年度シーズンと常任指揮者としての最後を飾る2022年3月の広上定期で予定されたプログラムで、新型コロナウイルス感染症の影響により曲目を変更せざるを得なくなったのは皆様も記憶に新しいことと思います。今回はそのリベンジ公演。広上は常任指揮者退任後、京響 広上淳一というタイトルになり、いっそう自由で温厚篤実なキャラクターで京都の聴衆を魅了します。そして独唱は前回も「リュッケルトの詩による5つの歌曲」で素晴らしい歌声を披露していただいた藤村実穂子。現代最高のメゾ・ソプラノ歌手の一人です。そこに京響コーラス女声合唱と京都市少年合唱団が加わります。演奏時間は約100分。現存する交響曲の中でも最も演奏時間の長い交響曲と言われています。休憩なしで全楽章を通して演奏されます。こんな体験は滅多にありません。本公演に限り、〈フライデー・ナイト・スペシャル〉も土曜公演と同じ内容のフルボリュームでお届けします。さあ、満を持しての公演をどうぞお楽しみください。皆様のお越しをお待ち申し上げております！

指揮 ◆ 広上 淳一

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロバス響のポストを歴任。近年では、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、バルセロナ響、サンクトペテルブルク・フィル、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを成功に導いている。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。2020年「令和2年度京都新聞大賞」、2022年「京都市特別功労賞」を受賞。京響においては、2008年4月から2020年3月まで第12代常任指揮者（2014年4月からミュージック・アドヴァイザーを兼務）、2020年4月から2022年3月までは第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一、京都コンサートホールミュージックアドバイザー。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



©伊藤菜々子

メゾ・ソプラノ ◆ 藤村 実穂子

ヨーロッパを拠点に国際的な活躍を続ける、日本を代表するメゾ・ソプラノ歌手。主役級としては日本人で初めてバイロイト音楽祭にデビューし、フリッカ、クンドリ、ブランゲーネ、ワルトラウテ、エルダなどの主役で9シーズン連続出演。ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場、パリ・シャトレ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン国立歌劇場、マドリッド・レアル歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ジュネーブ大劇場、ヴェローナ歌劇場、バルセロナ・リセウ歌劇場、ザルツブルグ祝祭大劇場、テアトロコロネ・ブエノスアイレス、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場、ルセルン音楽祭などに出演の他、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィル、パリ管、聖チェチリア国立音楽院管、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、スイス・ロマン管等の世界的なオーケストラ、ティーレマン、アッパード、メータ、小澤征爾、エッセンパッハ、シャイー、ディヴィス、マズア、ヤンソンス、ネルソンス、ネゼ＝セガン、ガッティ、ドゥダメル等の著名指揮者とも共演している。またブランゲーネ役でブラシド・ドミンゴ、アントニオ・パッパーノとのCD録音「トリスタンとイゾルデ」(EMI社)でも各方面より注目を浴びた。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院及びミュンヘン音楽大学大学院修了。2002年出光音楽賞、2003年芸術選奨文部科学大臣新人賞、2007年エクソンモービル音楽賞、2013年サントリー音楽賞、2014年紫綬褒章をそれぞれ受賞。



©R&G Photography

合唱 ◆ 京響コーラス (女声) —

【合唱指揮：浅井 隆仁】

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響音楽監督&常任指揮者・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約130名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

Chorus: Kyoto Junior Chorus

合唱 ◆ 京都市少年合唱団 —

全国初の公立の少年合唱団（児童合唱団）として昭和33年に創立され、現在約200名の団員が在籍する。今回出演予定のメンバーは、団内選抜グループ「響」（ひびき）の、小学5年生から中学3年生の団員。これまでに京都市交響楽団とは、マラー交響曲第3番、第8番（千人）、ブリテン戦争レクイエムをはじめ、その他多くの演奏会に出演を重ねてきた。京響のほかには大阪フィルハーモニー交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団等のプロオケ、著名な指揮者、ポップスアーティスト、海外の団体とも様々な演奏会、イベントで共演し、また小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトや関西二期会オペラ公演に招聘されるなど、その歌唱力は多方面から信頼されている。

City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一（2022年3月まで）、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド（2023年3月まで）が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上亨真事務所 井上恵和